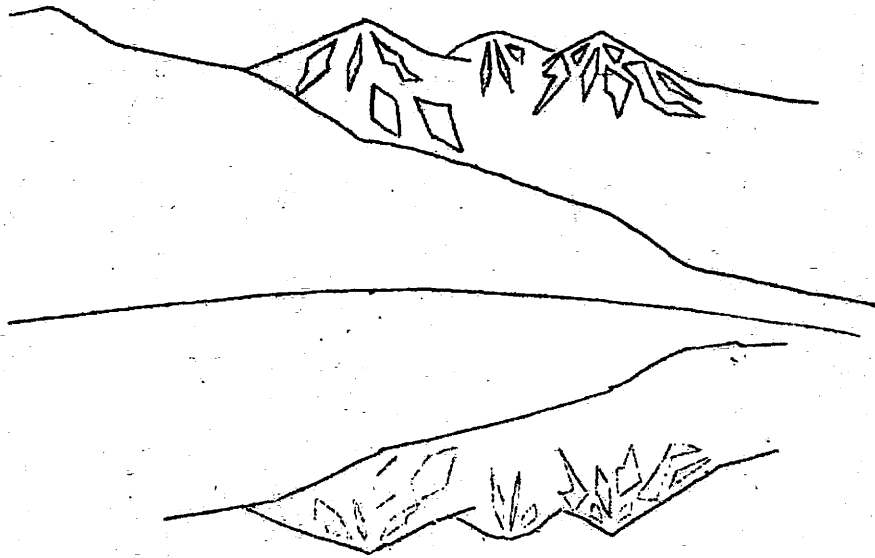


82

秋山
個人山行
報告書



S.A.C.

信州大学山岳会
14 14 14 14 14

by H. SUZAKI
DESU

小黒川

△ 山本, 岩村, 山崎 (エフソニ)

9/26 ① ~ ②

桂山場 7:30

途中ザイル, Pick使用

西駒 1:30

山崎談「稜線は冬で良」

~~~~~ 冬山の唄 作詞 山崎SL  
作曲 "~~~~~  
編曲 山本SLと剛市SL

♪ 去れど悲しく自由のつかない冬山ア~~~~

暗くてジメジメ折れている冬山ア~~~~

便所に行くと鮮血飛び散る

痛い! 寒い! 痛い! 寒い!

痛、寒む 痛、寒む 痛、寒む 痛、寒む

~~~~~

冬山ア~~~~

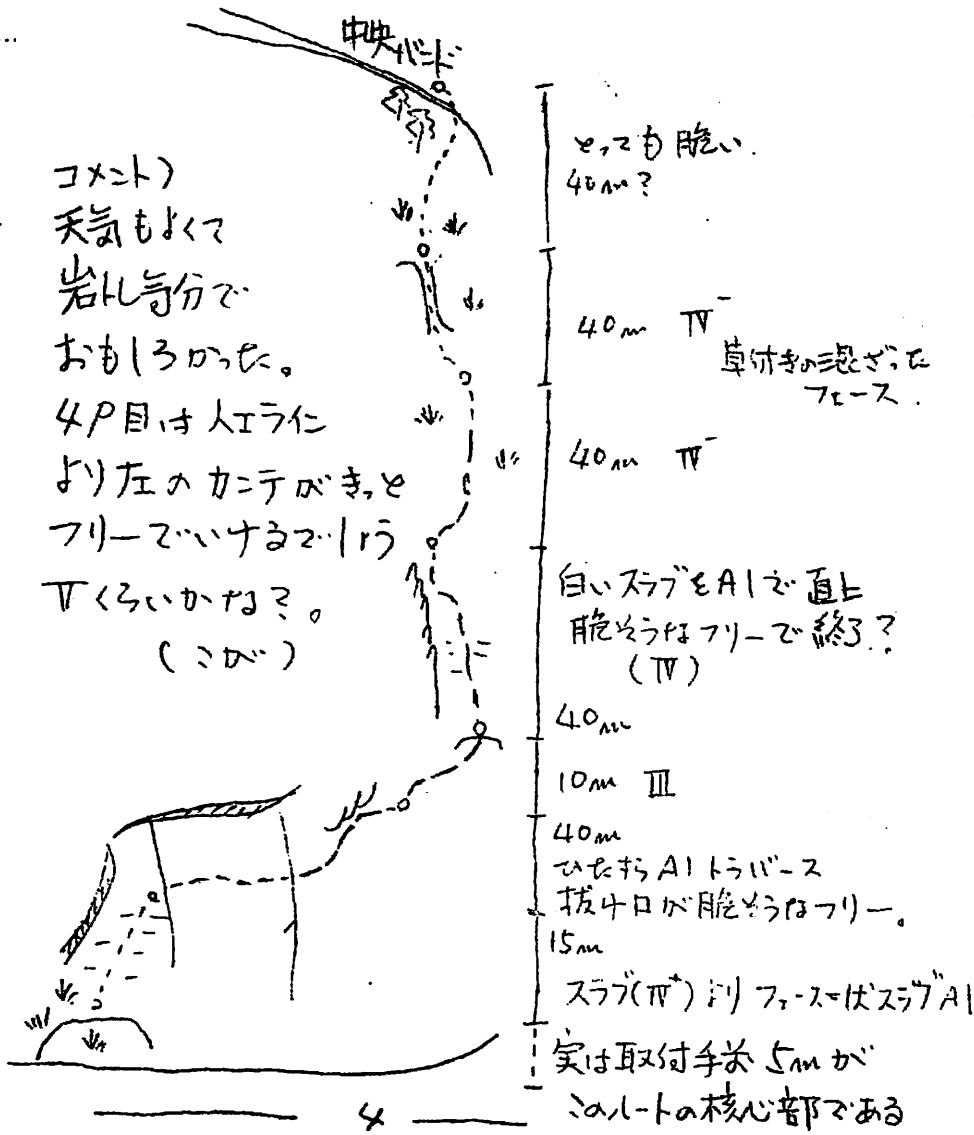
3

明星山: 正面壁

△ 岩村 記

9/27 入山

9/28 ◎ 取付 7:00 終了 12:00 SR, 7Picks



幕岩

期日 > 9/30 ~ 10/2

X=心> ④ 藤井 高取

9/30 ① 入山 松本 → 七倉^{1.5h} → 高瀬^{2h} → 大町の宿

10/1 ②/① 5字ルート 取 6:45 終 11:15 4.5h 14pick
 取付はルート図の左の草付き(V-)に行く。
 振り子は、行わずに行ける。

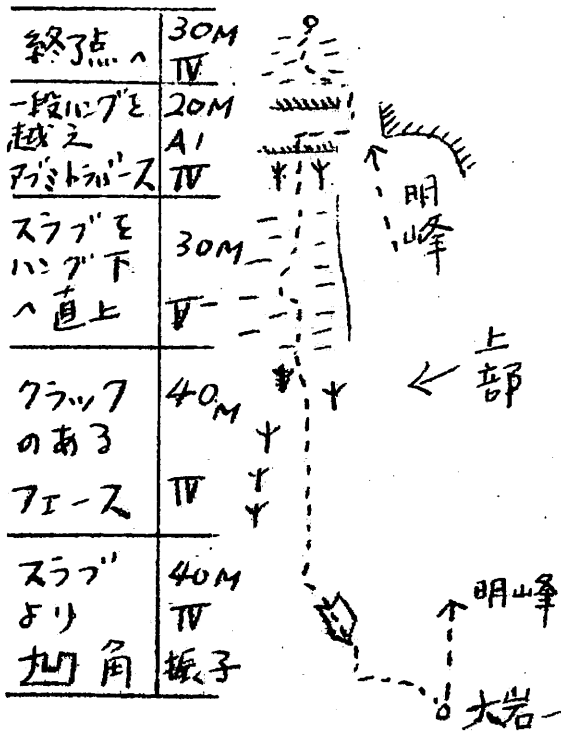
10/2 ③/②/① 大凹角ルート 取 6:30 終 8:50 2.3h 6pick

大町の宿 11:00 → 大町駅 13:30

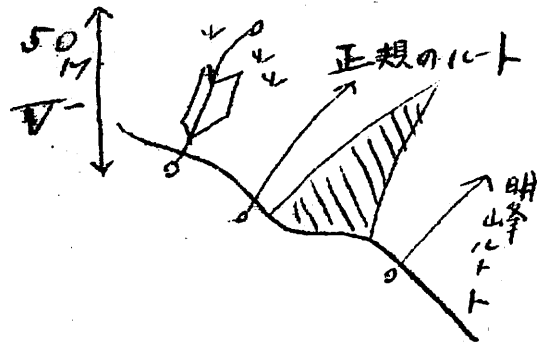
ルートの状態はコブがふいていたりして悪...が
 A1等で行けば難くなる。

下降は西壁ルンセ" (終了点から右方向トランス)
 と 40m pick で右稜の3ルへ。

-7カトリ-



5字取付



ハケ岳縦走

期日) 10/6 ~ 10/9

X:バ) 日高 だけ!

1日目 ◎ 松本 5:10 発 ~~++++~~ 茅野駅 - バス - 親湯 ^{8:15 着}
- 天祥寺平 - 横岳 - 高木山 -
麦草峠 - 白馬池キャンプ場 T.S 16:50

2日目 ◎ T.S 9:10 発 - 中山 - 天狗岳 - オレの台 ^{12:50 着}

3日目 A× 沈殿 孤独との戦い!

4日目 A× 稜線は A× 風が 強がるう というので
下山。小屋から西へ下る 登山道 を
つかって。 T.S 発 8:00 茅野駅 12:00

<Comment>

雨のため 赤岳を登れなかったのは残念
だった。1人で登る 最初の山域として
ハケ岳は この時期 最適と思う。
北ハケ岳に關しては 全く 向題ナシ
と思われた。

- ヒマカ -

P-6-

奥鐘山西壁

紫岳会直上 and 広島ルート

○ 10.7 ~ 10.10

○ L フジイ 岩村

○ 10/7 松本 村 十ヶキ平 - 西壁岩小屋

今年は黒部川の水がかなり少なく楽勝で岩小屋に着く。一晩中焚火をもちしながらねる。あったかやー。

○ 10/8 ◎ 紫岳会直上ルート 4時間

取付 7:15 ~ くの字テラス 9:30 ~ 9:50 ~

V+ picli 終了 11:35 ~ 12:15 ~ 岩小屋 14:15

・取付 西壁末端より 50m 上流に落ちている紫岳会ルンゼを 100m 登り、左の岩の凹角(皿)をつめて大バンドに出る。100m も下降したところが取付。ちょっと分りにくいが、真左にトラバース出来るようなバンドの直下である。そのバンドにボルトがある。

・1P IV 40m
垂直気味のフェースに落ちたバンドを 15m 左トラバースし凹角に入り、さらに 20m その凹角を登る。

・2P IV+ 30m
凹角を更に登り、左の小レッキンへ出る。

・3P IV 30m
容易なバンドを左へトラバースし、猿回しのテラスへ。入口のみ IV。

4P IV (1point V+) 30m
スラブを直上し、右上気味にくの字入口の下まで。

ボルト連打された小スラブの 2m 左トラバースが 1ヶころ おつかしい。

- ・5P V⁻ 30m
かぶり気味の凹角を2つニえ、くの字に入る。
- ・6P V A1 40m
ハンゲ下まではフリーで行ったが思わずキム!
とばかりにボルトを使う。もういいわとエーダー
を3回使いハンゲをこえる。
凹角は左右に分かれるが、その左の凹角を登る。
殆んどローピンでVとぶつかりしが、快意そのもの。
凹角を抜け、右下へ下りくの字のテラスへ。
このあたり全くフールがとどかず、15分ほども
ロスがあった。小休止。
- ・7P IIIへIV 40m
中央ルニゼを40m
- ・8P IIへIII 40m
バンドを40m いっぱいたへトラバース
- ・9P V⁻ 振子 35m
草付のクラックを右よし、ハンゲ下をビレポイントま
で7m 振子。
- ・10P A⁺ V⁺
ピンの良くきいたハンゲを越え、更に人工点
でスラブのフリーになる。
20mほどのV⁺のフリーにピンは一本だけと少
恐しいが、フィートだけあり、実にすばらしい
スラブであった。Vの感覚で登れる。
でも冬にあんなとどろろと登るのが好き。
- ・下降. 40m アップサイレンで10回をきいて川原へ。
ピンはよくきいており、10P目のハンゲには下降用の
ポイントもあり、全くこわくない。よかったよかった。

感想

オールフリーに近く、また岩は硬く、更に草付は
少ないと、最高のルートであった。
夕刻にのどかに登れたように思う。
しかし、帰ってからボルダーを2時間ほども
楽しただけは失敗。
少し翌日にダメージが残ってしまったのでした。

・10/9 ① 広島ルート 9時前半
取付 6:30 ~ 終了 16:00 ~ B.P. 17:00

・1p IV 35m (バンド ~ 凹)
取付は岩小屋対岸のバンドを右へ10m
登ったところである。(III) ビレーポイントより上に
京都ルートが伸びている。
バンドを右へ15mトラバースし、凹状よりテラスへ

・2p IV A1 40m (凹 ~ フェース)
更に凹状を20m右上し、重壁を人工し、
ルンゼの落口で不安定なビレー。
ここが A0 のわけない。

・3p IV+ A0 40m (凹 ~ 左フェース)
急な草付のルンゼを10m登り、弓形ハンク直下の
シェードルより振り子で左トラバース。
このあたりのブッシュはひどい。

・4p IV A1 40m (左トラバース ~ 直上)
ブッシュラインを左15mトラバースし、人工で
頭上の小フェース右端へ出る。ここから
2m振り子を交えて左トラバースし、木でビレー。
右10mに京都ルート、左3mに近づく吉野ルート
が見える。

・5p II ~ IV 50m (ブッシュ ~ 右トラバース)
左上トテラスよりブッシュに入り、スラブのバンドを
右上。
このあたりは時々コールがとどかず頭に来る。
「オープニング？」
「……」
「登るぞー！」
「クワクワクワ」
「ええんがー！」
「……ダウン……」
気感ほしていたが、今日は二人して登ってしまった

・6p IV A0 30m (バンド ~ 凹)
バンドを更に10m右上し、2つある凹角の右のオ
をのぼり、スラブよりトテラス。
凹角はフリーでいけそうだったがキラアツ

・7p III ~ IV 40m (スラブ)
頭上の大ハンク帯下までスラブを登り、ハンク下
の小フェースを5m右上し、小レッジへ。
ここが京都ルートとの分岐であるが、テラス
を人ぞいり。ここまで4時頃、小休止。

- 8p IV+ A1~A2 50m (スラブ~ハンク)

トフェースより左のグレンに出、大テラスへ。ここで切った方がよかつたが、ルート図を信じトフェースをた上し、形状ハンク右の凹角をこえ、3m左へアブミトラバース。更にトハンクの上の小レミジまでガイルを伸ばす。この最後の部分がA2。

左方にマコもハンクが見える。

- 9p A1, IV+ 40m (ハンク~スラブ)

ハンクをひたすら登り上部スラブへ。ポルトはピンピンだが、いつものように抜け口にはピンがない。

- 10p V A1 (1point) 40m (スラブ)

おぼろしいスラブをた上し、左方の細い草はよりた上バインドに出る。さうしたオのテラスより右へ折り返し、小レミジでビレー。このレミジがIVなるといっていい。

- 11p IV 30m (スラブ)

少したよりの頭上ハンク帯へまでスラブをのぼり、トテラスへ。上部スラブのルートファインディングはむづかしい。

- 12p IV A1 30m (ハンク)

ピンがなく、あちがま、こっさかまと言いつつハンク左へスラブを5mのぼり、右側のハンクの人エで回り込む。6mほどくちたハーケンをたよりにた上し、2段目のジニードル状ハンクをこえ、スラブへ。

- 13p IV+ A1 40m (トラバース)

最終ハンク下までスラブを登り、左へ左へとフリーと人エとを交えてトラバース

ハンクが切れた部分をエイヤ!!!とこえ、草付スラブをた上し、終了。抜け口は手たしても最悪。上部タイムは5時間。

- 下降

終了点より40m左へトラバースし、レンゼをよこせり、15mトラバースののち10m下降。更に40mトラバースすれば岩倉会レンゼ。ここでわかれさうでビバーク。

- 10/10 @ B.P. - 川原 - 松本

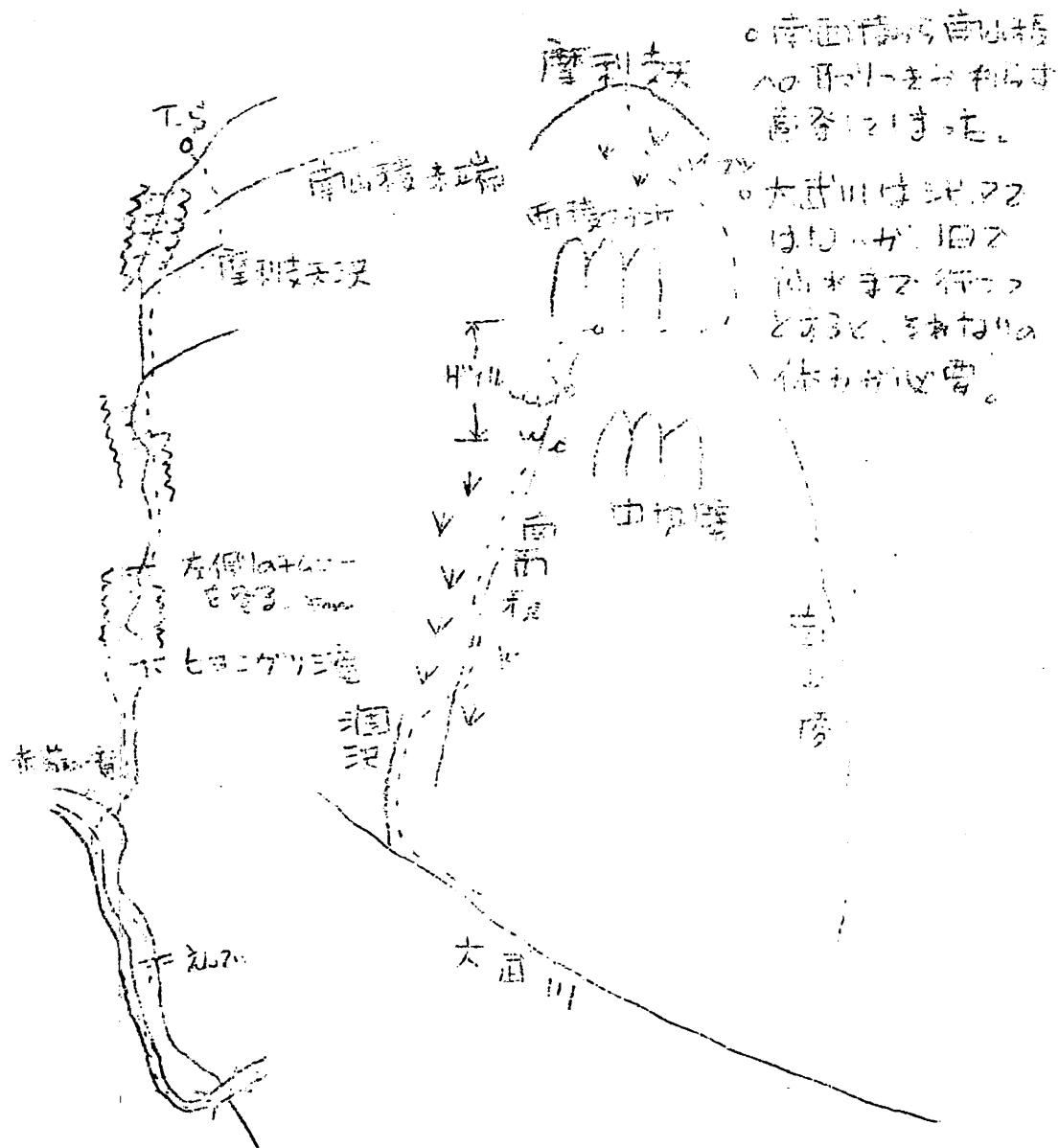
ポルトを2本打って40m下降後、ルートに合流。もう40mで一昨日の下降ポイントに出る。めでたしめでたし おしまい。

大武川 ~ 摩利支天 L 茂呂 丸山 深田 宮本

19/21 中津深 - T.S

19/22 06:10 - 06:30 - 15:20 摩利支天沢出合
T.S 大武川出合 上流 100% = 2 T.S

19/23 06:15 - 10:23 - 11:00 - 13:00 - 14:00
T.S 摩利支天 阿婆取 仙水峠 大沢峠

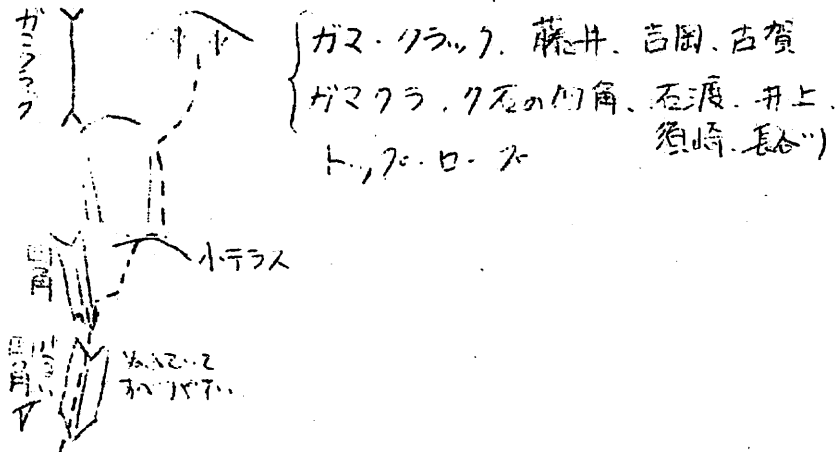


小川山 10/22 ~ 25

△岩村 吉岡(思誠)、古賀(長谷川)、石渡
藤井、井上、須崎 ← 八ヶ岳から移行

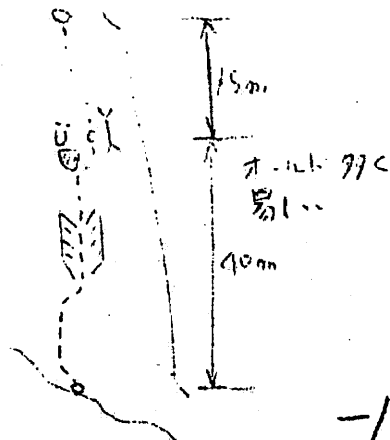
10/22 〇入山、左ニ、72カ大岩 東面及南面
ボルダリング (ト、70、ロ、70)

10/23 〇午前中、スラブ岩登 (ト、70、ロ、70)
上部 ガマ・クラック付直



午後 涸沢岩峰群

皿峰大岩 - トリル - ト △古賀 石渡 須崎

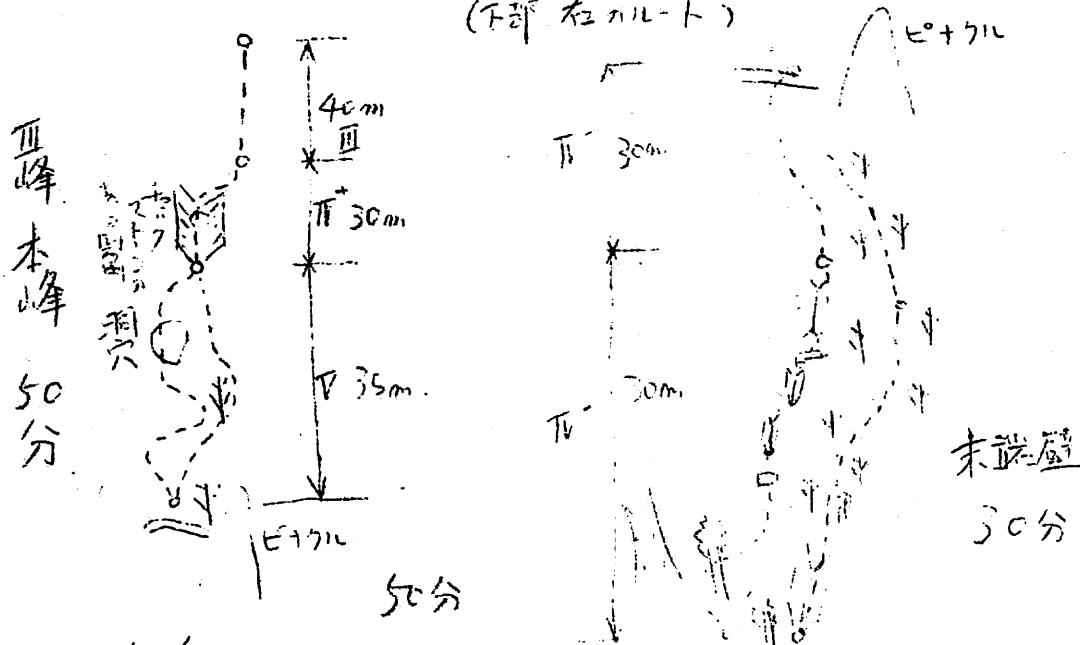


取付 2:30

終了 3:10

三日月岩峰群 Ⅲ峰 クーロールルート

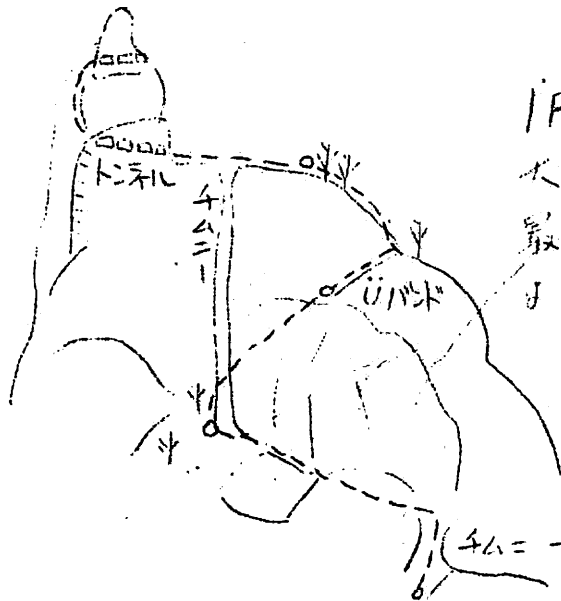
△吉岡井上 △藤井長谷川
(下部右のルート)



10/24 ◎ → ● =

小川山レイバック見学後 不殿様岩

- ① △フジイ 後崎 ② △コガ 井上 ③ 吉岡 石段の岩村 (長谷川)



1P目カ少い難しい心。
大した事なく、身に行ける
最後のトネリを抜けるの
が おもしろい!

4m = -14-

小川山

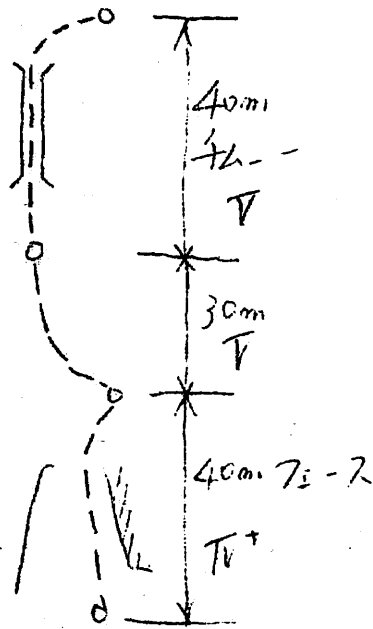
10/25

① 屋根岩Ⅲ峰 神奈川ルート

1. △ 吉岡、須崎 取付. 8:00 終了 10:30
2. △ 藤井、井上.

1P目は明るい、フェースで又通
2P目の出だしは下が切れている。
ほぼ垂直の所、ぐらついたフツツコ
があるが、この水を使わないと難しく
なる。

3P目は終始橋のせまいチムニ
のなまぐい登りに苦労する。

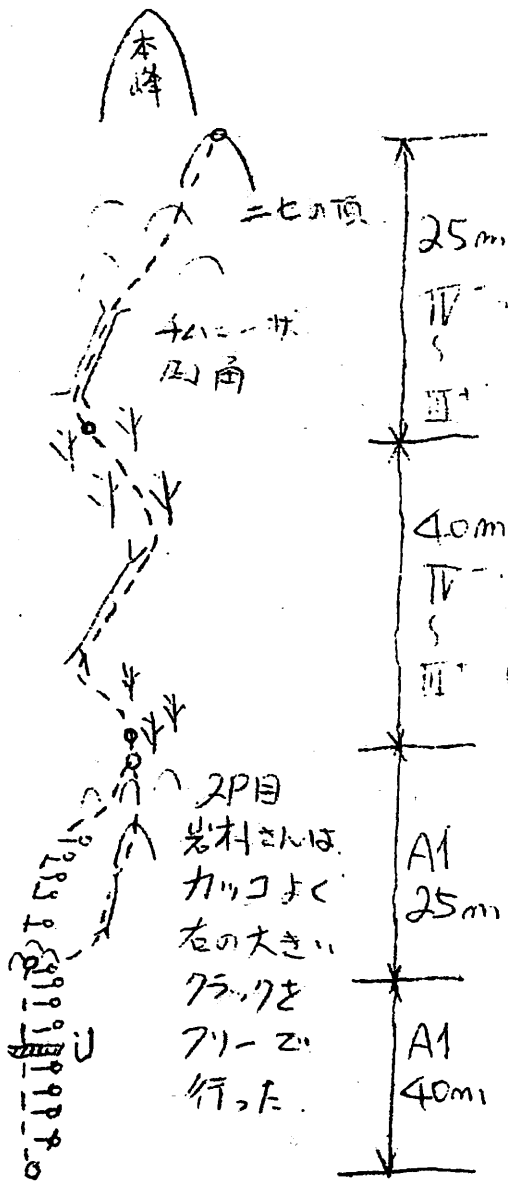


感想、フェースあり チムニありの面白いルートである。
3P目ほどにはかく疲れた。
(スガキ)

② 屋根岩 IV 峰南稜
 △ 岩村、長谷川

2 時間

注) 下部 60 ~ 70m
 フリーゾ



下降は、本峰と前衛峰の間のコルに降りてから3峰側ルンゼに下降。全くフリーゾ可。

1. 2PのA1はビシの間カク立。

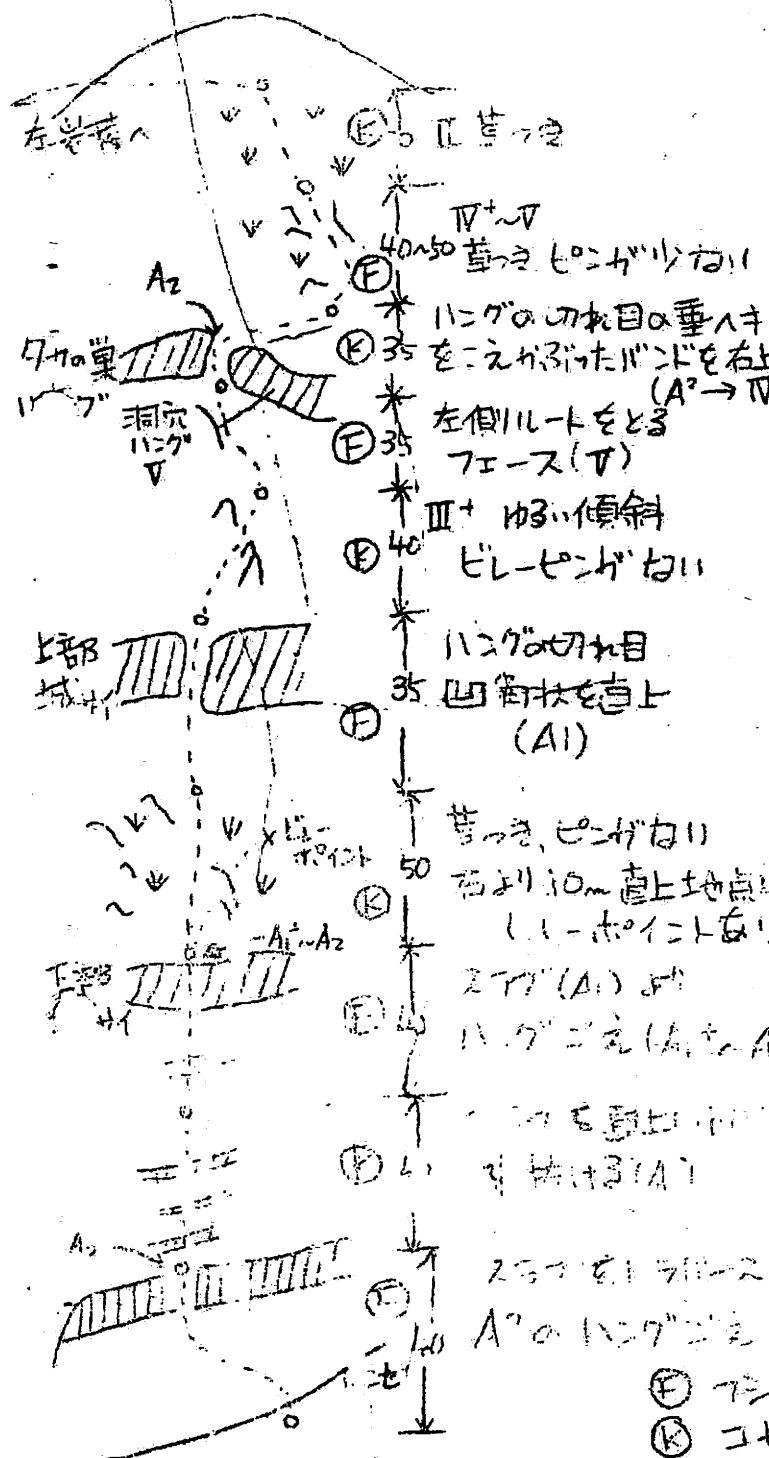
(感想)

今回行ったルート以外の所は、シヤミング等のクワックが要求される。

ニ山がハード・フリーかと感じをし、シヤックを受けた。由美ちゃん

(長谷川)

明星 P₆ 南壁のルートと 高さ 10% 小知



頂付け 07:00
 終了 13:00
 6h. 10ピッフ

コ×=ト)
 とピッフ目インクを
 抜けてから若干がて
 落石しやすい。
 今この日は雪付
 だが傾斜がわり
 二ある。
 ちい少くよゆうが
 ねは十分楽に
 はずか。 (二ヶ)

- ⓔ フジイリード
- Ⓚ コカ リード

摩利支天 岩の穴 (右の穴)

1. 田淵・中村

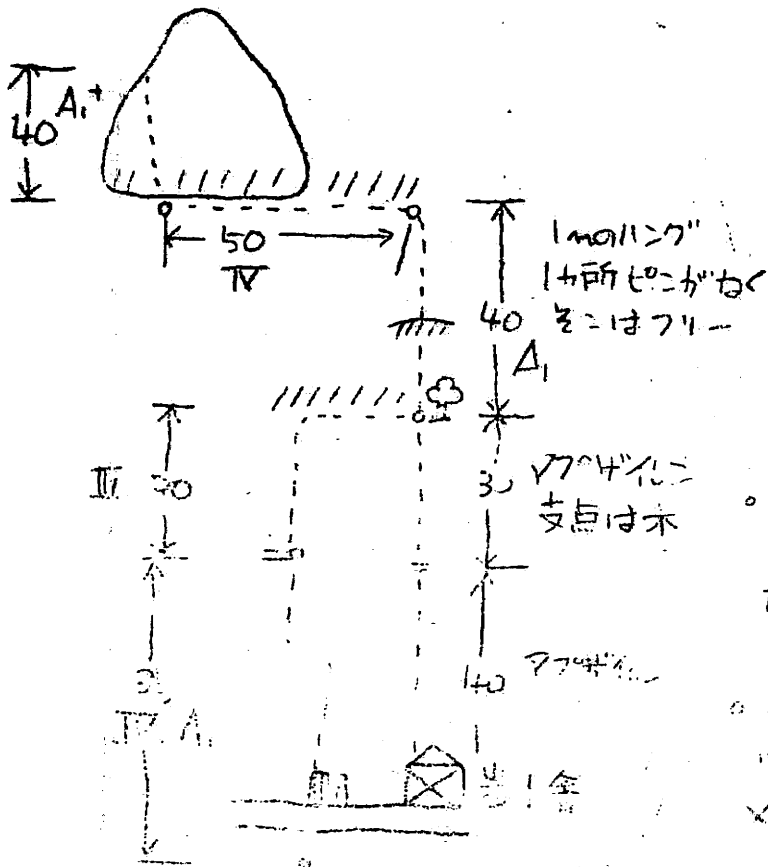
～ 名古山 (会館-1)

10/23 ○ 伊那 → 北沢峠 → BC 19:00
15:30

10/24 ◎/⊗ B.C → 取付 → 5時下山終了 14:00
06:00 8:30

→ アソビ化 = 終了 16:00 → 岩小屋 B.C

10/25 ○ 下山



コ×ニL)

- ・ オムシ 岩の下
をトコトコして
たがったのけす
た。た。
- ・ 目くらまし
降った
× 和 7+7+4+4+4

MEMO
NY 0220

○ 明星山 P6 左岩稜ルート 6 コガ、スギキ

取付 9:30 終了 1:30

A₁ は初めてで非常に疲れました (須崎)

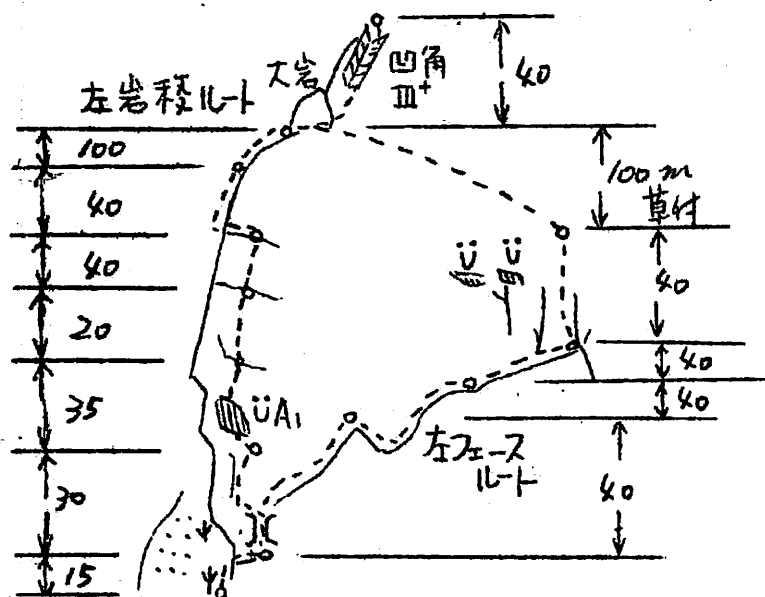
○ 明星山 P6 左フェースルート

タカトリ、フジタ party 取付 10:00) + 数 pitch
 終了 15:00

comment

取付で4*. あとはⅢ~Ⅳ程度。先行 party がいた為、ビッグルートとなった。(たかトリ)

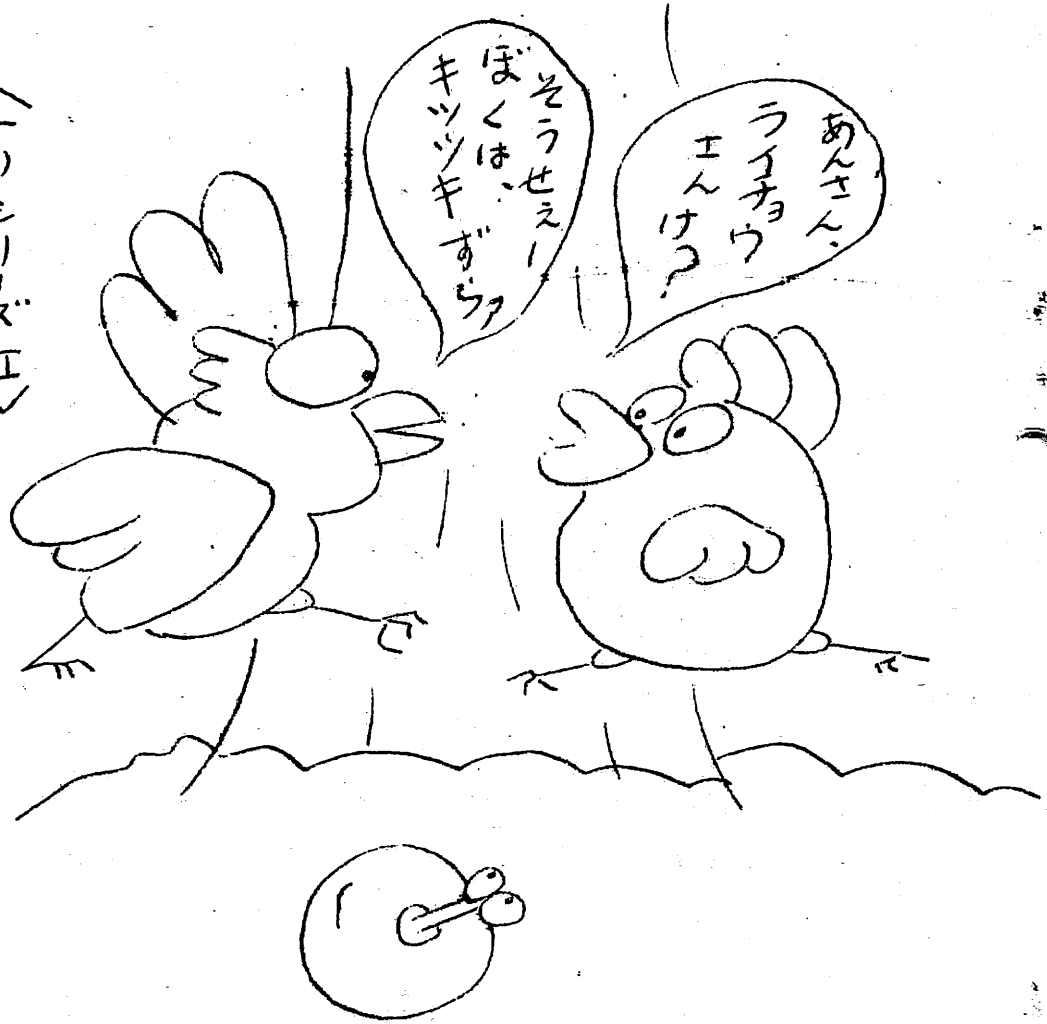
フジイ、いせがワ、ミヤモト party 取付 10:00
 終了 15:50



- 10/31 ① 長谷川、須崎 入山 (18:00)
- 11/1 ● 沓殿 宮本 雨の中入山 (17:30)
- 11/2 ●* → ◎ 壁がぬれているため沓、糸魚川買出し隊
 小堀掘削隊 (フジタ、いせ、ミヤ) (たか、フジ、ミヤ)
 藤田 入山.
- 11/3 ○ P6 左岩稜 & 左フェース 登山
- 11/4 9:30 下山

X E -

トリスリーズⅡ



'82

J A C
秋山伊人山行報告書